

# RUTC時代の準備

あの新芽のようには私の心の中にも  
福音の根が ぐくぐく...



## 胎児見部

- 第1課 RUTC時代の家庭での準備 (Iテメ1:1~5) / 6
- 第2課 RUTC時代の教会での準備 (Iテメ1:14, 2:1~7) / 10
- 第3課 RUTC時代の学校(学業)での準備 (C4テ3:1~20) / 14
- 第4課 世の中の問題と福音準備 (Iテメ3:14~17 4:1~5) / 18

## 第1課 契約の父母のためのロードマップ

胎児は 女性自身と周囲の環境、特に 父と母との 安定的な 情緒をつづけています。胎児の中の記憶が 潜在意識の中に植えつけられる際、神様の心ととも、夫婦がともに分かち合うことが重要です。女性が一人いるときにも、胎児の中の赤ちゃんの名前(胎児名)を口ずかしながら、月経前マッサージと通い、神様の愛が伝達されるように努めることが重要です。この中で、父の信仰がそのまま胎児の中へ伝達されるため、福音の根が ぐくぐくしていく時期が 胎児の時から 進んでいくべきです。

## 第2課 契約の父母のためのロードマップ

教会は多いですが、福音が伝わりつつある現場には、飢えを覚える魂が あり、多くいます。その中で生きていかねばならない 私達の子供達に、日暮間にあふれわたる 日暮の時に、見守る目と心に、父と母に 完全に頼る時刻を、胎児、嬰兒へ 正しい信仰観と 教会員としての備えに 向けさせることが 重要です。父と母の両方に 契約が 宣明される教会で 契約の心ととも、礼拝に 成り代わるように 向けさせることが 必要です。祝福は ないでしょうか？

## 第3課 契約の父母のためのロードマップ

胎児期の時期の学校は、すなわち家庭です。家庭学校の 最高の先生は、父と母、父と母、父と母、もし、祖父母がいたら、それとよい先生になることができます。先生が 学生に 教える時、教える内容が なければ、無能な 教師です。しかし、父と母が 霊的な 興味が あり、すべての 事の前に 福音と 契約から 教えるなら、最高の 先生になるでしょう。今から 始めてみましょう。

## 第4課 契約の父母のためのロードマップ

胎児期、嬰兒期には、父と母の 絆が必要であり、スキンシップを通じて、絆感の中で、神様がともにいて下さる事実と、イエス様がキリストである契約を毎日 植えつけることが 重要です。この時、生涯 福音の興味が あり、神様が 用いられるように なるようになります。また、この時期に 目に見えてあげること、感じさせてあげること、目にきかせてあげることが 重要です。世の中の教育以前に、父と母がともにいて下さる 霊的な部分を 基礎に、教えること、世の中で 成功するし、と 育つよう 向けさせることが 父と母の 役割です。

## 第1課

# RUTC時代の家庭での準備

Ⅱテモテ1:5

私は夜昼、祈りの中であなたのことを絶えず思い起こしては、先祖以来、きよい良心をもって仕えている神に感謝をしています。私は、あなたの涙を覚えていて、あなたに会って喜びに満たされたいと願っています。私はあなたの純粋な信仰を思い起こしています。そのような信仰は、最初あなたの祖母ロイスと、あなたの母ユネのうちに宿ったもので、それがあなたの中にも宿っていることを、私は確信しています。(Ⅱテモテ1:5)

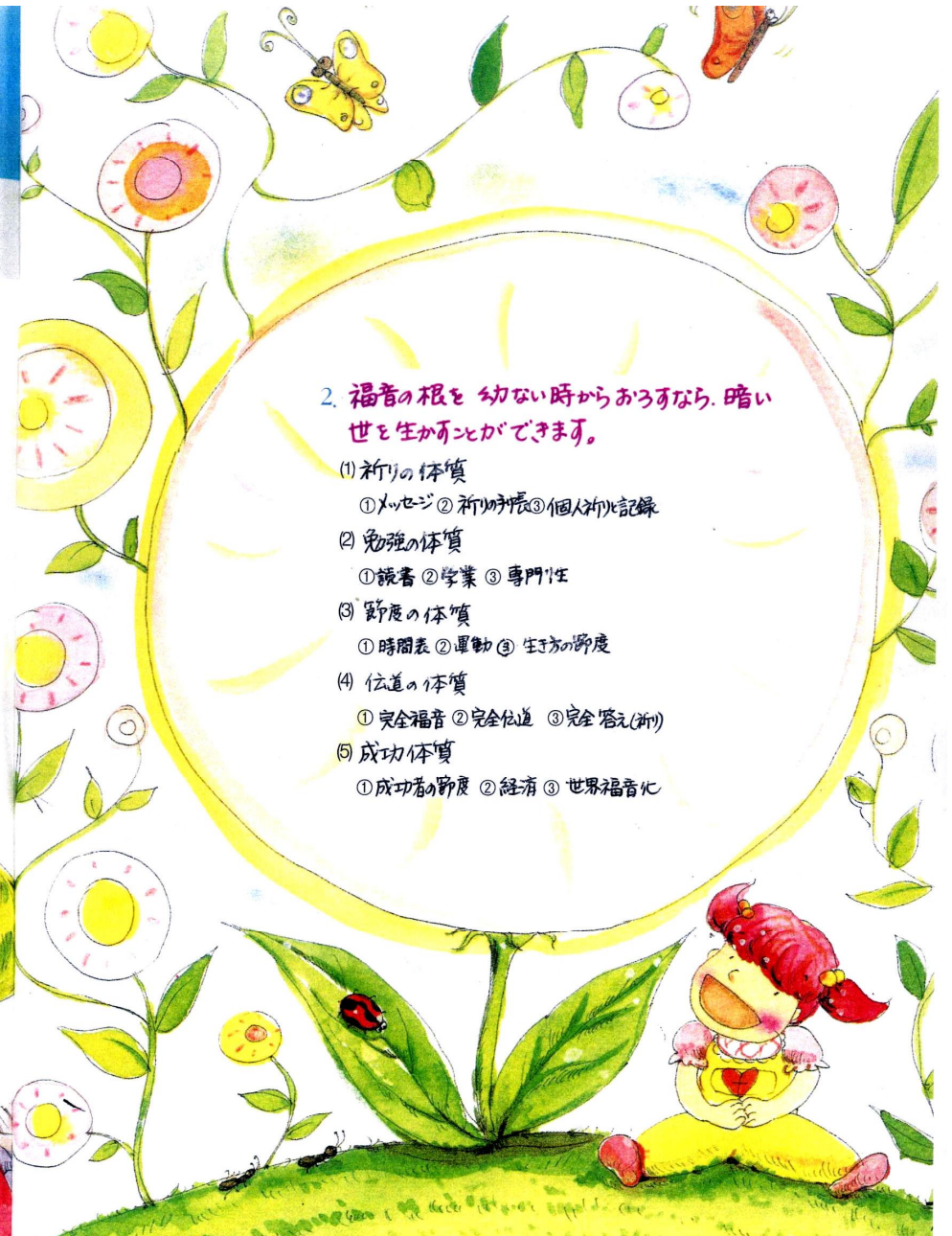
## 1. 家庭での準備より まさるものではありません。

- (1) きよい良心をもって 神様に仕える福音をもった家庭は、しんがんにとて一番大きな祝福です。
- (2) 偽りのない 父母の 信仰は、しんがんに大きな影響を与えます。
- (3) これを通いしんがん(子供)の中に 福音が宿るようにします。(Ⅱテモテ1:5)



## 2. 福音の根を 幼ない時からあたらすなら、暗い世に生かすことができます。

- (1) 祈りの体質
  - ① ムセジ ② 祈り祈帳 ③ 個人祈り記録
- (2) 勉強の体質
  - ① 読書 ② 学業 ③ 専門性
- (3) 節度の体質
  - ① 時間表 ② 運動 ③ 生き方の節度
- (4) 伝道の体質
  - ① 完全福音 ② 完全伝道 ③ 完全答え(祈)
- (5) 成功体質
  - ① 成功者の節度 ② 経済 ③ 世界福音化





### 3. レムナト7名のように家庭で一番重要に準備しなければならないことがあります。

- (1) 家庭はレムナトの土台(足場)です。
- (2) 家族を通じてエリートの節度を準備すべきです。
- (3) 家庭で起きる問題が機会です。

### 🦋 家庭でこのように実践してみよう！



#### 1. 胎中の赤ちゃんに

時間と決めておいて、おなかの中の赤ちゃんとともにみことばを黙想し、祈る訓練と継続し、このことを通い霊的な節度と本質が準備されていきます。

#### 2. 乳児期と幼児期

この時期は、赤ちゃんが父母の事実的な姿を見つ、契約が伝達される時期です。家庭で父母が祈っている姿、本に親している姿、福音に生きる姿を見せながら、家庭礼拝を通い、事実的な契約が伝達されていくことが重要です。

#### 3. 言葉と話し始め、歩き始める時期になったら。

この時期は、美しいことばと真実な心も子ども達に見せ、教えるべきです。特に起きる時刻には、「神様が知恵を下して、かきくおこさないで、かきくお顔で起きたのね。」と教える。食べる時には、歩き回らない習慣(「歩き回りながら食べることは、神様が喜ばれないよ」)と教える。遊ぶ時には「いよいよ一生懸命遊ぼう!」など、基本をばくみ、一つ一つ正しく教える時、節度が伝達されるようになります。



【通心Tip】

家庭での父母の生活の姿は、胎中の赤ちゃんや幼児にそのとおり伝達されるため、父母の生活と習慣をまず福音の体質に変えることが重要です。

- ① 家庭で父母と幼児が5つの福音の体質のために実践する目標を書きおいて、実践する度にステッカーを貼り、一月に一度ごほうびをあげます。
- ② レムナトはまず家庭で父母の祝福を受けて福音エリートとして準備される事実を知って、毎日家庭でレムナトを祝福する計画(時間・方法)を立て、実践してみよう。



## 第2課

### RUTC時代の教会での準備

Ⅱテモ1:14,2:1-7

そこで、わが子よ。キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。多くの証人の前で私から聞いたことを、他の人にも教える力のある忠実な人たちに与えなさい。(2:1,2)

#### 1. 牧会者の祈りの中にいるレムナンになるべきです。

(1) “愛する子 テモテヘ” (Ⅱテモ1:2)

① 愛 ② 子 ③ 手紙

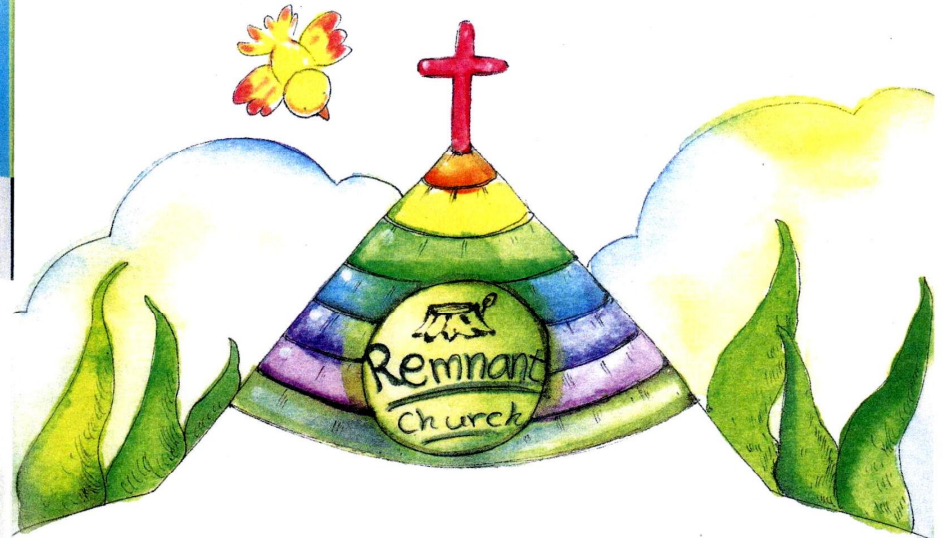
(2) “私は、夜昼、祈りの中であなたのことを絶えず思い起こしては、先祖以来きよい良心をもち立ている神に感謝しています。私はあなたの涙を覚えているのであなたに会って喜びに満たされたい”

① レムナンは牧会者が亡くあつたときと求める中になるべきです。そして願っています。(Ⅱテモ1:3,4)

② レムナンは牧会者と涙が通じるべきです。

③ レムナンは牧会者の喜びになるべきです。

(3) 重要なメッセージを伝えられるほど霊的な子になるべきです。



#### 2. レムナンは教会で重要ないくつかを学び、世に出るべきです。

(1) 霊的な父母の愛を受け、彼らの祈りの課題の中にレムナンがいるべきです。

(2) 信仰生活の成功の節度を学ぶべきです。(Ⅱテモ2:2-6) (Ⅱテモ2:1)

① 兵士 ② 競走者 ③ 農夫

(3) 世に勝つミニゴの証人をもっているべきです。(Ⅱテモ3:1-17)

① 世の終わりの日には、困難な時代がやってきます。(Ⅱテモ3:1-13)

② 神様の心の中にとどまる時、世に勝つことができます。(Ⅱテモ3:14-17)

(4) 伝道者の生き方を学ぶべきです。(Ⅱテモ4:1-5)

(5) 伝道者が個人的な頼みとあぐらい柱のような偉大な人になるべきです。(Ⅱテモ4:9-18)





### 3. レムナは 礼拝を通して 神の恵みを受けることができます。

- (1) メッセンジャー・説教者を理解すべきです。
- (2) 福音・みことばを理解すべきです。
- (3) 証人・現場を理解すべきです。



教会でこのように実践してみましょう。



#### 1. 礼拝の重要性

すべての仕事の前に父母が礼拝に優先順位を置くことが重要です。いつも牧師や先生のために祈り、教会と仕え者のために祈る中心をもってこれを実践してみましょう。

#### 2. 礼拝に来るまえ

まず、教会に行く前に赤ちゃんに重要な約束からします。礼拝の重要性に対して教えを授け、心と精神を尽くして礼拝を捧げることができる。約束行為を通して刻みつけておけるようになります。

「礼拝は神様と交わる時間です。」

「お菓子が食べたくながらなくてもいいです。」

「歩き回りにくてもちゃんと待つことができます。」

「礼拝の前にごはんを食べよう。」

「神様と交わる時間に、みことばを聞いて賛美を歌って、神様が世界福音化の天使になります。」

「南蛮金もかわいい2つ折の封筒に入れて神様にさげよう。」



**Tip** 家庭での父母の生活の姿は、胎の中の赤ちゃんや幼児にそのままだよるため、父母の生活と習慣をまず、福音の体質に変えることが重要です。

- ◎ 信仰の両親(牧会者)に 祈りの手紙を書きましょう!
- ◎ レムナは教会で深く感じる理解し、牧会者の祝福を受ける時、準備はできたと知り、家庭礼拝で牧会者の名前を呼びながら祈り、子ども自身が牧会者に感謝の手紙と贈り物も贈りながら、祈りの厚みを直接おねがいするようにしてみましょう。



## 第3課

# RUTC時代の学校(学業)での準備

ピリピロ:1~20

しかし、私にとって得であったこのようなものをみな、私はキリストのゆえに、損と思うようになりました。それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知らないこと、あはれみのゆえに、いっさいのことを損と思っています。私はキリストのためにすべてのものを捨て、それらとちがうかと思っています。それは、私はキリストを得、また、キリストの中にある者と認められ、律法による自利義ではなく、キリストに信じる信仰による義、すなわち信仰に基づいて神から与えられる義をもつことができる、という望みがあるからです。ピリピロ:7~9

## 1. 時代的な伝道者パウロがもっていたものを学ばなくてはよ!

- (1) シュメントウ人(シモン)は契約の中で豊かにこの世の知識を持っていました。
- (2) パウロがもっていた知識の世界は、どんなものでしたか?
  - ① 彼は世の知識でも卓越していました。(ピリピロ:4~5)
  - ② 宗教知識と虚構性(ファンタジー)に詳しくもよく知っていました。(ピリピロ:12~16)
  - ③ キリキアティン・ローマ・天国市民権を持っていました。(ピリピロ:20)
- (3) 世界福音化に用いられるぐらい多方面の知識を持っていました。
  - ① 哲学(学問) ② 文化 ③ 言語



## 2. 学校で専門性を捜さなくては。

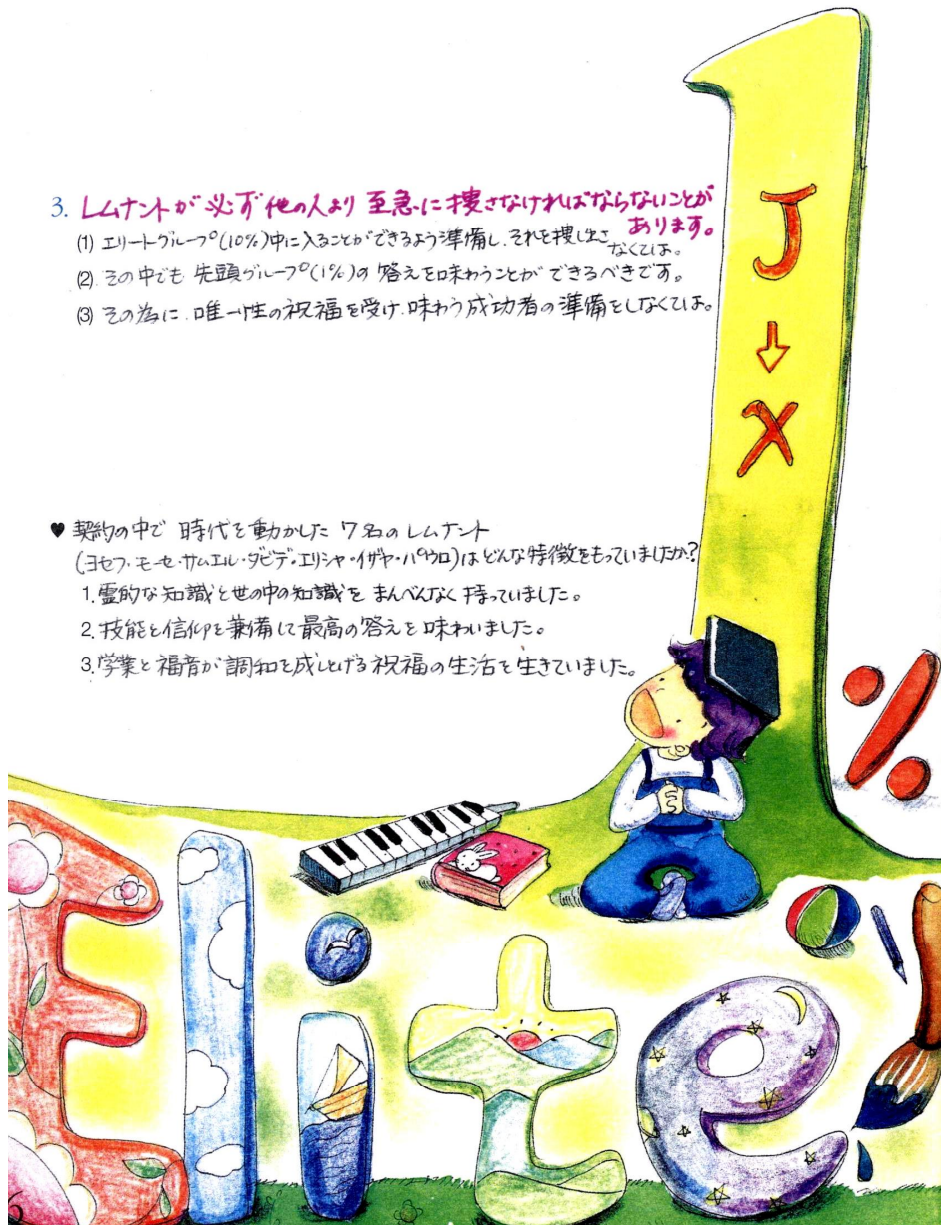
- (1) 最善、最高、最適な答えを味かう勉強をしなくては。
- (2) 趣味と特技を発見し、これを育てていかなければ。
- (3) 学問の能力を培い、タラントに合った方向と発見をいかなければ。
- (4) 専門性と世界化を準備すべきです。

### 3. レムナントが必ず他の人より至急に捜さなければならぬことがあります。

- (1) エリートグループ(10%)中に入ることでできるよう準備し、それを捜さなければならぬ。
- (2) その中でも先頭グループ(1%)の答えを口にするべきである。
- (3) そのために、唯一の祝福を受け、味方成功者の準備をしなければならぬ。

♥ 契約の中で 時代を動かした 7名のレムナント  
(ヨセフ・モセ・サムエル・ダビデ・エリヤ・イザヤ・ハナニヤ)はどんな特徴をもっていましたか？

1. 霊的な知識と世の中の知識を まんべんなく 持っていました。
2. 技能と信仰を兼ね備え、最高の答えを 味わっていました。
3. 学業と福音が 調和と成し、祝福の生活を生きていました。



学校(家庭)で のように 実践してみよう。



#### 1. 集中力と高める 祝福のお話

赤ちゃんが母を産む時、集中して産むなら、集中力と忍耐力が強くなり、後には「学業」も集中力と熱心性を発揮できるようになります。赤ちゃんの目を見ながら、「このお母さんのみ、体が丈夫になって、世界福音にできる力を授けようようにさせて下さい」と祝福し、祈って下さい。赤ちゃんにも、祝福の会話を分かち合い、赤ちゃんが一生懸命に食べようとする事が重要です。この時、神様に用いられるレムナントの話を伝え、祈れば、申し分ない幸せな時間になるでしょう。

#### 2. マッサージや スキンシップを通して絆感形成

頭のマッサージ、指のマッサージ、スキンシップを通して、お母さんとお父さんと赤ちゃんの情緒的な絆感を形成することが重要です。赤ちゃんの気持ちよく、幸せな時、契約の約束を聞かせてあげて下さい。お母さんと一緒に、嬉しそうに、祈って下さい。信仰がスラスク、みんなが祝福がスラスクとあり、幸せな答えが待っています。



#### 適Tip

子どもを福音 エリートとして 養育するためには、優先して父母が勉強し、学習の習慣を備えることが重要です。父母が感じ、考えた事を福音の視点で、子どもによく伝えてあげることが、祝福される教育です。

- 夫婦が一緒に読書日録をつくり、本を讀んで、勉強する計画表を立て、ともにフォーラムの時間をもってきましょう。時には 家族旅行を通して、美しい自然と世の中も見え、絆感を形成することも子どもにとって、望ましい学習の場になることができます。



## 第4課

# 世の中の問題と福音準備

Ⅱテモテ  
3:14~17  
4:1~5

けれどもあなたには学んで確信したところにとどまっていなさい。あなたは自分が、どんな人たちからそれを学んだかを知らず、また幼いころから聖書に親しんで来たことを知っているからです。聖書はあなたに知識を与えて、キリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができるのです。(Ⅱテモテ3:14,15)

## 第2 テモテ

### 1. 世の終わりに、困難な時代が来ることをパウロは預言します。

(1) その理由は何か？

- ① 人々が福音ではない世と自分を愛するとは異なる愛におちてしまうためです。(Ⅱテモテ3:14)
- ② 福音の力を否認するからです。(Ⅱテモテ3:5)
- ③ 異端の勢力がおき上がり、異端の教えが広まるから、異端をつくる者たちが多く出てくることのためです。(Ⅱテモテ3:6~9)

(2) そうであるなら、シムナトはこの世をどのように見るべきですか？

- ① 世の中を恐れる必要はありません。
- ② そうだと軽んじて見てもいけません。
- ③ 世をうらやましかる理由もありません。

(3) 聖書は世の終わりにおきる事に對して警告しています。(Ⅱテモテ3:13)

- ① 犯罪、殺人、強姦、子姦、殺害のようなあまりにひどいことがおきます。
- ② 麻薬が急速に広まるようになります。
- ③ 精神病患者が急増するようになります。
- ④ 自殺者数も増加するようになります。

### 2. シムナトの時に世の中に勝つ完全な準備をすべきです。(Ⅱテモテ3:14~17)

- (1) 重要な事を知り、確信をもって出て行くべきです。(Ⅱテモテ3:14)
- (2) 父母と先生と教会指導者から学んだことをよく心に留めておいておくべきです。(Ⅱテモテ3:15)
- (3) 救いの恩典の中で知識をもって出て行くべきです。(Ⅱテモテ3:15)
- (4) 聖書の教えを正しく知り、心に深く留めるべきです。(Ⅱテモテ3:16)
  - ① 教訓(あらためめを受けること)
  - ② 戒め(まもらるべきこと、守らるべきこと)
  - ③ 正しめる(矯正)
  - ④ 義の訓練(解決のわざ)
- (5) 完全になる 神様の御義をもって出て行くべきです。(Ⅱテモテ3:17)

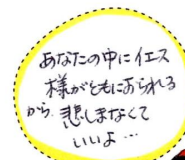


### 3. レムナットの使命は他にあります。(エペソ4:1-5)

- (1) 伝道者になれぐらい学業と証しの準備をすべきです。
- (2) 伝道者になれぐらい成功すべきです。
- (3) 霊的問題が解決されぐらいの実力を持つ伝道者になるべきです。



世の中に出ていく前にこのように実践してみましょう。



#### 1. 霊的正体性を明確に教えます。

世の中に出て行く前、父母のふところにある時、「私は誰か？」に関し霊的正体性を明確に教えることが重要です。時代が悪く、苦しい時が臨んでいる事を父母がわかり、世に勝つ力はただ福音であるという事実を伝えて下さい。神様がわたしと我々になる奥義ともっているなら、どんな至る環境にも勝つことができる事実を祈りと信心をばい伝えましょう。

#### 2. 生活の小さな働きの中でインマニエルを叫ぶ。

友達とけんかに心痛くて泣く時、お母ちゃんを泣いている時、「あなただけの中にイエス様がいてくれるから、悲しまなくていいよ。」と語りかけます。恐れ不安の多い赤い顔には「イエス様はあなただけと我々にあなただけを愛しているよ。お母さんと一緒に祈ろう。」と語り、どんな状況でもインマニエルを叫ぶ奥義を祈りと信心をばい伝えてあげます。「あなただけ、世界福音にある神様の子と我々」と自尊心を高くしてあげ、なにより「お母さん、お父さんがあなただけを愛するよりもっと神様はあなただけを愛しておられるよ。」と言葉を通して神様の愛の中で充滿にとどまるよう、助けてあげて下さい。

#### 実施下P

- ◎ インターネットや新聞を通じて世の中で注目されている問題を集めて我々家族新聞をつくらせよう。その事件に福音だけが解答になることを教えてあげ、神様の愛と我々の確信(救い、導き、勝利、祈りの答え、罪の赦し)を伝えたい。
- ◎ 世の中で成功した人達の話をお母さんやお父さんや子供に聞かせしめてあげ、後世のための祈りの課題と発見をみせよう。

